

2. トピック① インターンシップへの参加

近年、卒業後の進路選択に向けて、インターンシップへの参加が重視されています。実際の参加状況を見ましょう。これまでのインターンシップ参加経験を文系・理系、学年別に比較すると、文系・理系とも高学年ほど参加経験が多くあります。かつ参加率は、理系よりも文系で高くなります。最も高いのは文系・学部4年以上で、62%となり、エントリー経験を含めると7割を超えています。参加会社数は「1～2社」が3割程度で、それほど多くはありません。

表3 インターンシップへの参加

	N	参加した				エントリーのみ	エントリーしなかった
		参加率	1～2社	3～4社	5社以上		
全体	4623	23.2	16.1	4.3	2.7	11.7	65.1
文系1年	710	2.5	2.4	0.1	0.0	2.5	94.9
文系2年	669	7.7	6.7	0.4	0.6	6.7	85.5
文系3年	586	19.8	18.3	1.5	0.0	36.9	43.3
文系4年以上	581	61.6	31.2	16.5	13.9	9.0	29.4
理系1年	180	2.3	1.7	0.0	0.6	2.8	95.0
理系2年	209	6.3	5.3	1.0	0.0	3.8	90.0
理系3年	184	8.1	7.6	0.5	0.0	18.5	73.4
理系4年以上	206	34.9	25.2	5.3	4.4	7.3	57.8
文系修士	271	32.5	25.8	6.3	0.4	11.1	56.5
文系博士	123	15.4	13.8	0.8	0.8	1.6	82.9
理系修士	395	46.9	31.9	10.4	4.6	22.0	31.1
理系博士	62	35.4	30.6	4.8	0.0	11.3	53.2
専門職大学院	447	24.8	18.8	3.8	2.2	4.9	70.2

インターンシップへの参加は、進路として「民間企業」を希望している場合に高いのでしょうか。ここでは4年以上を対象に、民間企業希望別にみます。やはり、民間企業を「希望している」場合には、文系4年以上では71%が「参加」し、「エントリーのみ」と合わせると8割を超えています。理系4年以上では、文系ほどは高くないものの、5割を超えています。反対に、「希望していない」場合には、文系・理系とも参加率は3割にとどまっています。

表4 民間企業への就職希望有無別にみた学部4年以上のインターンシップへの参加

	N	参加した				エントリーのみ	エントリーしなかった
		参加率	1～2社	3～4社	5社以上		
民間企業を希望している							
文系4年以上	450	70.6	33.3	20.2	17.1	10.2	19.1
理系4年以上	100	44.0	29.0	7.0	8.0	9.0	47.0
民間企業を希望していない							
文系4年以上	131	30.6	23.7	3.8	3.1	4.6	64.9
理系4年以上	106	26.4	21.7	3.8	0.9	5.7	67.9

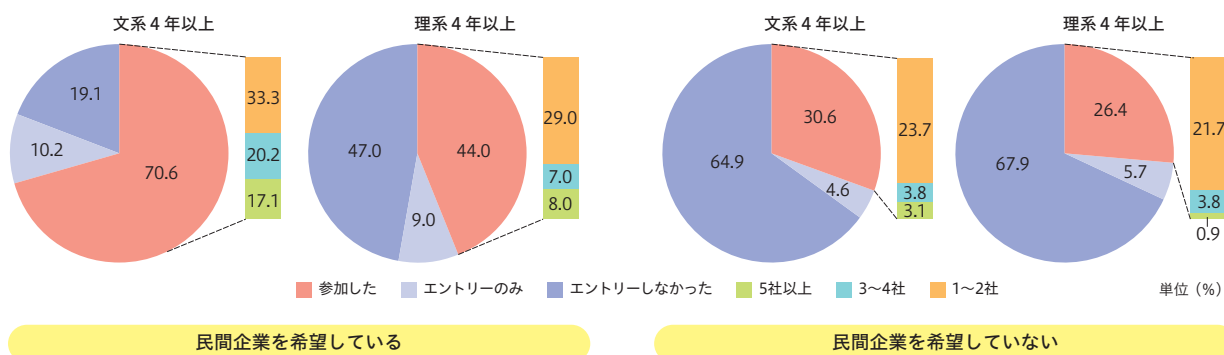


図5 民間企業への就職希望有無別にみた学部4年以上のインターンシップへの参加

参加した時期（複数回答）では、全体で最も多いのは「3年生の秋学期（冬休み・春休みを含む）」、「3年生の春学期（夏休みを含む）」で、経験者の35%が、それぞれの時期でのインターンに参加しています。本調査は夏休み前に実施していますので、学部3年は、夏休み以降での参加が加わるものと考えられます。

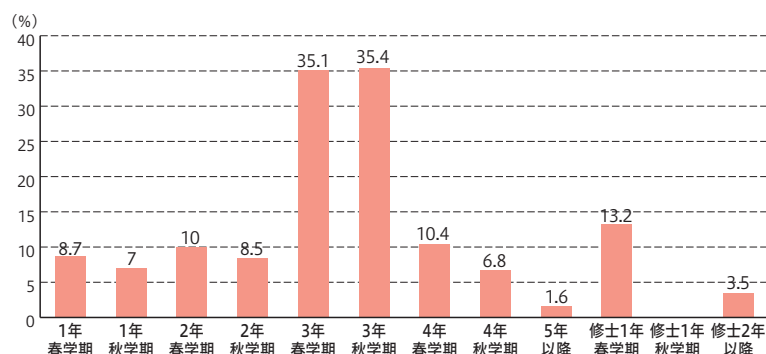


図6 インターンシップへの参加時期 (複数回答)
※全学年を対象とするため参考値にとどめる。

表5 インターンシップに参加した成果 (複数回答)

(%)

	N	企業や組織で働くことのイメージ		自分の仕事での適正		志望する業種や職種		就職先に求める基準		
		多様になった	あいまいになった	明確になった	広がった	明確になった	広がった	明確になった	幅が広がった	あいまいになった
全体	1076	47.9	37.2	3.4	22.9	14.4	28.7	20.6	22.7	16.4
学部1年	22	47.1	17.6	0.0	17.6	17.6	29.4	17.6	23.5	5.9
学部2年	65	46.4	44.9	2.9	20.3	23.2	11.6	31.9	14.5	24.6
学部3年	131	45.8	42.7	7.6	19.1	15.3	16.8	20.6	22.9	16.0
学部4年以上	430	45.5	36.8	2.8	23.1	12.0	31.6	21.9	22.9	18.4
1・2社	233	39.1	30.9	3.9	16.7	8.6	24.0	18.0	17.2	14.6
3・4社	107	52.3	42.1	1.9	33.6	5.6	35.5	19.6	28.0	18.7
5社以上	90	53.3	43.3	1.1	25.6	26.7	43.3	32.2	31.1	27.8
専門・大学院	428	51.2	35.4	2.9	24.6	14.9	32.4	17.3	23.9	13.4

	働きたいという意欲		就職活動への熱意	就職活動への不安	仕事上での具体的なスキル	社会人としてのマナー	人的ネットワーク	特に成果はなかった
	高まった	低下した	高まった	生じた	身についた	身についた	広がった	
全体	2.9	26.5	4.7	24.5	12.7	16.9	20.9	26.7
学部1年	0.0	17.6	5.9	11.8	11.8	41.2	47.1	58.8
学部2年	1.4	29.0	10.1	13.0	20.3	29.0	29.0	31.9
学部3年	0.8	22.1	5.3	20.6	25.2	32.1	28.2	30.5
学部4年以上	4.0	25.9	2.8	29.5	9.9	10.6	16.7	22.4
1・2社	3.9	19.7	2.1	19.7	8.6	8.6	14.2	15.0
3・4社	3.7	31.8	2.8	36.4	9.3	11.2	15.0	23.4
5社以上	4.4	33.3	4.4	44.4	14.4	14.4	23.3	40.0
専門・大学院	2.7	28.5	5.4	23.2	10.2	15.6	20.5	27.8

さて、インターンシップへの参加は、文字通り多様な影響を学生たちに及ぼすようです。例えば、「企業や組織で働くことのイメージ」については、「多様になった」とする人がいる一方で、「あいまいになった」とする人もいます。また、「自分の仕事での適正」については、2割程度が「広がった」としています。「志望する業種や職種」については、低学年での参加者は「明確になった」とし、高学年はどちらかというと「広がった」としています。「就職先に求める基準」は、「明確になった」、「幅が広がった」とする傾向があります。「働きたいという意欲」については「低下した」とする人が、4年以上、専門・大学院で4分の1を超えています。また、「就職活動への不安が生じた」とする比率も4年生以上では3割に上ります。

他方で、「仕事上での具体的なスキル」が「身についた」は2年生、3年生に見られます。「社会人としてのマナー」が「身についた」や、「人的ネットワーク」が「広がった」人は、1年生、2年生に多く見られます。低学年でのインターンシップ経験は、就職活動というよりも、初めての社会生活の体験と言えるでしょう。この点は、「特に成果はなかった」とする回答が低学年ほど高い傾向とも合致します。低学年でのインターンシップは、就職活動としては早すぎるのかもしれませんが。

参考までに、4年生以上の参加社数別に見ると、「自分の仕事での適正」が「明確になった」、「広がった」の2項目を除く、全ての項目で、参加社数が多いほど各項目を挙げる比率が高くなります。例えば、「志望する業種」が「明確になった」、「広がった」や、「就職先に求める基準」が「明確になった」、「幅が広がった」、「あいまいになった」の比率は参加社数が多いほど高くなっています。この傾向は、「働きたいという意欲」が「低下した」、「就職活動への不安」が「生じた」、あるいは「特に成果はなかった」についても当てはまります。

なお、インターンシップは、1日程度の短期から、数カ月及ぶものまでありますが、ここでの結果には両者を含んでいるため、上記のような多様な成果があがると考えられます。